

タンキン×ハウガク #平櫛田中邸によせて

主催 津上 裕

日程 令和4年11月3日(木)～6日(日)

会場 旧平櫛田中邸 台東区上野桜木 2-20-3

この企画では、鍛金作品の展示や邦楽の演奏会、ワークショップに加え、鍛金作品と邦楽演奏のコラボレーションなどが旧平櫛田中邸で開催されました。異なる分野の美術と音楽との共同プログラムを一般的なホールやギャラリーではない場所を会場として行う試みです。

概要

会期 令和4年11月3日(木)～6日(日)

会場 旧平櫛田中邸



◆邦楽演奏会◆

11月3日(木・祝)、11月5日(土)の2公演。
平櫛田中氏及び田中邸にゆかりの邦楽プログラムで構成。

それぞれの日程で異なる助演者で演奏。

演奏者 11月3日:村澤かをり、村澤丈児、津上弘道

11月5日:中嶋ひかる、藤重奈那子、津上弘道

演奏曲 「秋風の曲」、「秋の言の葉」、「砧巢籠」、「明鏡」、「組歌」

◆金工美術展示◆

金工造形家今井貴絵の個展。鍛金技法による作品を展示。

作品数:15点

作品名:「排出のエラーたち」、「落花」、「嵐」、「夢花」、「終始、落ちること」、「自翔」、「Flower of Error」、「花遊びのエラー(一部)」

◆尺八体験ワークショップ◆

11月3日(木・祝)、11月4日(金)、11月5日(土)に4回実施。

体験用の楽器を用いて、実際に吹奏してもらうワークショップ。

◆鍛金邦楽コラボレーション◆

11月4日(金)に3回実施。

実験的な試みとして、鍛金作品の中で尺八演奏を実施。

●開催の様子●

❖邦楽演奏会❖

邦楽演奏会は、旧平櫛田中邸のアトリエにて開催されました。小春日和の日の光が柔らかく差し込むアトリエで優しく、時には力強く響き渡る尺八と箏の音。



1曲目の「秋風の曲」に始まり、「明鏡」、「砧巢籠」と演奏が進む頃には、すっかり日も落ちて演奏者とその前に配された鍛金作品を照明が優しく照らし出します。目前の演奏者達と鍛金作品が一体化して見えるほど、アトリエの雰囲気が増感に感じられる、大変心地よい時間でした。

会場と企画内容が関係付けられていることが、その体感をより一層効果的なものにしていました。

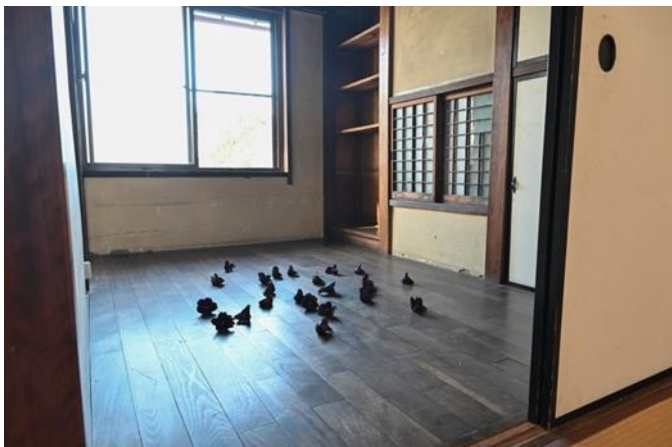


❖ 金工美術展示 ❖

平櫛田中氏が住居として使用していた建物の2階。その2階のお部屋を使って金工造形家今井貴絵の個展「排出のエラーたち」が会期中を通して開催されました。



各部屋の間取りをフル活用して展示された鍛金技法による金工作品の数々。



作品は、旧平櫛田中邸の調度品を利用して展示されるなど、一般的なホールやギャラリーとは異なる魅力的な、作品と共にあるような空間でした。



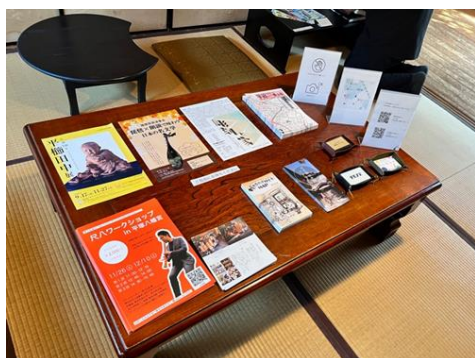
❖尺八体験ワークショップ❖

体験用の尺八を使い、実際に吹奏してもらうワークショップ。尺八に全く触れたことの無い方も参加され、難しさと格闘しながらも何とか音が出せるところまでたどり着いたようです。



❖鍛金邦楽コラボレーション❖

1階のアトリエに展示された鍛金作品の中で尺八を演奏するという実験的な試み。アトリエの空間でのコラボレーションですが、2階のお部屋をはじめ、建物全体にその音色が響き渡りました。2階での展示鑑賞と同時に尺八の演奏を聴く、というよりも自然と耳に入ってくる。聴覚と視覚、日の光の温かみ、開放された窓からそっと感じる秋の風・・・まさに五感で楽しめるひとときでした。



❖地域の紹介❖

地域誌や地域の飲食店ショップカード、今後の演奏会等のチラシ・谷根千関連の書籍を並べ、地域の紹介を行なった。多くの地域の方々にお越しいただきました。